

2020年度入試【3年次編入学】

【日本語学・日本文学】

(法文学部・言語文化学科)

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は1ページである。解答用紙は二枚。下書き用紙は一枚である。
指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 4 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。
- 5

一 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

昔、おとこ女あひすみけり。年などもさかりにてよろづ行く末のことまであさからず契りつつありけるに、この夫思ひのほかにはかなくなりけり。其後なみだにしつみてあるにもあらずおぼえけるを、^A我も我もとねんごろにいどみいふ人ありけれど、いかにもゆるさざりけり。これをきくにつけても、なきかげをのみ心にかけてつ時の間も忘るるひまなくて、つめに命をうしなひてけり。そのかばねはいしになりける。
^B（こはりや契しことのかたければつめにはいしとなりけるかな
 この石をば、その里の人々、望天石とぞいひける。ひとすぢに思ひとりけむ心のありけんありがたさも、この世の人には似ざりけり。

(『唐物語』による)

問一 傍線部Aの内容をわかりやすく説明せよ。

問二 傍線部Bを現代語訳せよ。

二 「音素」とは何か、「音(オン)」と対比させつつ、具体例をあげて説明せよ。

三 次の漢詩は、清水南山(松江藩の人。事跡不明)が、龍頭が滝(島根県雲南市の名勝)を詠んだものである。読んで以下の問いに答えよ。返り点、送り仮名はすべて省略した。

一 回来看一回宜 二度看来二度奇 欲画不成诗不到 瀑前把笔立多时

問一 この詩の形式を答えよ。

問二 押韻字をすべて指摘せよ。

問三 転句、結句の「欲画不成诗不到 瀑前把笔立多时」をひらがなだけで書き下し(現代仮名遣いを用いてもよい)、わかりやすい日本語に訳せ。

四 以下の問いに答えよ。

問一 「蜻蛉日記」について知るところを述べよ。

問二 黄表紙というジャンルの特徴について、知るところを述べよ。

問三 次の文学史的事項の中から一つを選び、知るところを述べよ。

自然主義

中勘助

与謝野晶子

川端康成

小説「風の歌を聴け」

小説「銀の匙」